

科目・コース（ユニット）名： リウマチ・膠原病・アレルギー
英語名称： Rheumatology and Allergology

【担当責任者】 下島 恭弘（リウマチ膠原病内科）

【連絡先】 リウマチ膠原病内科 医局 2286、下島 PHS 6475、佐藤（秀）PHS 6338、
浅野 PHS 6332

【開講年次】 3 年，【学期】 前期・後期【必修／選択】 必須／選択，必修

【授業形態】 講義／実習

【概要】 自己免疫疾患・アレルギー性疾患の病態生理を理解し、それら疾患の診断、治療の原則について学ぶ。

【学習目標】

- 1) リウマチ・膠原病・アレルギーの病態について免疫学、病理学、生理学的見地から説明できる。
- 2) リウマチ・膠原病・アレルギーの各疾患について症状および身体所見を説明できる。
- 3) リウマチ・膠原病・アレルギーの各疾患について検査所見、病理所見、診断に至る過程を説明できる。
- 4) リウマチ・膠原病・アレルギーの各疾患について治療および予後を説明できる。
- 5) リウマチ・膠原病・アレルギーの各疾患について、福島における実臨床例を通して、臨床医としての考え方を学ぶ。

【教科書】 特に指定はない。

【参考書】 特に指定はないが、リウマチ病学テキスト（診断と治療社）、膠原病診療ノート（日本医事新報社）、Kelly' s Textbook of Rheumatology（ELSEVIER）等が参考となる。

【成績評価方法】 成績評価は①出席状況、②授業態度、③期末試験、④その他の試験（実施した場合）に基づき総合的に評価する。最も重要な評価指標は③であるが、必要時はそのほかの項目も総合的に判断して成績を決定する。

【学習上の注意事項】

・積極的な授業参加を期待する（わからないことがあればぜひ質問をお願いします）。

【垂直的統合授業の実施内容】 リウマチ・膠原病の病理について実習を行う

【水平的統合授業の実施内容】 地域医療におけるリウマチ・膠原病診療について講義を行い、福島における臨床の実際について学ぶ。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】 自己炎症性疾患における遺伝子解析について講義を行う

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時 限	内 容	担当教員名
1	9月3日	木	1	(実) 病理実習	千葉英樹
2	9月3日	木	2	(実) 病理実習	千葉英樹
3	9月3日	木	3	(実) 病理実習	千葉英樹
4	9月10日	木	5	アレルギー総論	小林
5	9月10日	木	6	I型アレルギーの病態	小林
6	9月17日	木	5	I型アレルギーの診断治療	小林
7	9月17日	木	6	アナフィラキシー	小林
8	10月23日	金	1	膠原病総論	下島
9	10月23日	金	2	関節リウマチ①	浅野
10	10月23日	金	3	関節リウマチ②	浅野
11	10月29日	木	6	SLE/APS	秀三
12	10月30日	金	1	血管炎症候群①	下島
13	10月30日	金	2	血管炎症候群② BD、血清反応陰性関節炎	下島
14	10月30日	金	3	自己炎症性疾患・AOSD	右田
15	11月5日	木	5	SJD Sarcoidosis IgG4RD	秀三
16	11月5日	木	6	炎症性筋疾患	秀三
17	11月12日	木	5	全身性強皮症・MCTD	浅野
18	11月12日	木	6	臨床講義 1	下島
19	11月19日	木	5	臨床講義 2	下島
20	11月19日	木	6	臨床講義 3	遠藤平仁

【担当教員】

教員氏名	職	所属
下島恭弘	主任教授	リウマチ膠原病内科学講座
佐藤秀三	准教授	リウマチ膠原病内科学講座
浅野智之	講師	リウマチ膠原病内科学講座
千葉秀樹	主任教授	基礎病理学講座
右田清志	非常勤講師	聖フランシスコ病院
小林浩子	非常勤講師	南福島クリニック
遠藤平仁	非常勤講師	南東北福島病院

【医師として実務経験のある教員による授業科目】該当する